

平成20年度 事務事業評価シート

事前評価日		平成20年5月19日		No.		3011 13				
基 本 本 事 項	事務事業名	災害時要援護者支援事業			所管部署名	健康福祉部 社会福祉課 地域福祉係				
	事業期間	平成19年度 ~	未設定	事業年齢	1歳	事前評価責任者	岡田忠篤	連絡先 048 - 982 - 9602		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		根拠法令等				
	事務事業の性質	毎年繰り返し			執行方法	直営				
	基本 の 計 画 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無		直接事業費	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
		大綱	元気でやさしさあふれたまちづくり(健康福祉部門)			歳出 予 算 科 目	事業名			
		大柱	みんなが支えあう障害者(児)福祉の推進				会計区分			
		中柱	地域生活支援				款			
	小柱	災害時の要援護者の支援(再掲)			項					
	第4期実施計画の位置付け		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前年度の事務事業有無・管理番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		301113		
個別計画の位置付け	計画名	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 地域福祉計画								
目 的	対象(誰を、何を)	災害時に援護を要する方(高齢者、障がい者等)			手 段 (どのような事業を行うのか)	災害時要援護者(高齢者、障がい者等)の実態把握及び名簿を作成し、自治会や自主防災組織に情報提供関係団体による高齢者等見守り活動				
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	災害時に要援護者の迅速な安否確認や避難ができて安全が確保される。				事務事業を取巻く環境の変化・実施上の課題	一人暮らし高齢者や障がい者は年々増加しており、災害時における要援護者も増加している。			
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無									
業務プロセス(No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無									
事業関連ホームページ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無									

区分	区 分	平成18年度 決算(千円)	平成19年度 決算(千円)	平成20年度			平成21年度 当初(千円)	平成22年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 直接事業費		250			-250			
	② 人件費		1,808	1,825	1,851	44	1,851	1,851	
		正職員直接投入人員		0.2人	0.2人	0.21人	0.01人	0.21人	0.21人
		正職員間接投入人員		0.01人	0.01人	0.01人	0人	0.01人	0.01人
	③ 間 接 経 費 (加算)								
④ コスト対象外(除外)									
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		2,058	1,825	1,851	-206	1,851	1,851		
資 源	⑥ 国庫支出金								
	国補助率								
	⑦ 県支出金								
	県補助率								
	⑧ 市 債								
⑨ そ の 他									
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)									
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C	吉川市年間負担経費(A-B)		2,058	1,825	1,851	-206	1,851	1,851	
D	補助・単 独 区 分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段) 計 算 式 ・ 説 明 (下段)	単 位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
				目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	高齢者世帯数	人	-	2,438	2,600	2,700	2,800
		各年度末高齢者のみで構成する世帯数		-	2,340	2,440		
②	障がい者数	各年度末障がい者数	人	-	1,860	1,940	2,020	2,100
				-	1,599	1,979		
活 動 指 標	①	訪問回数	回	-	3,600	2,800	2,900	3,000
		要支援者宅の訪問回数		-	2,400	2,450		
	②	照会件数	件	-	1,860	1,860	400	400
		障がい者に対する名簿登録照会件数		-	1,599	380		
成 果 指 標	①	名簿登録同意世帯数(高齢者)	世帯	-	1,500	1,600	1,700	1,750
		一人暮らし、高齢者世帯で名簿登録に同意した世帯数		-	1,355	1,488		
	②	名簿登録同意者数(障がい者)	人	-	200	210	220	230
		障がい者で名簿登録に同意した者の数		-	405	435		

業 績	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	成果向上とコスト改善ポジション 現状成果水準・コスト改善の取組を今後も維持・発展 	
	活動結果	① 訪問回数 増加することが良いとされる指標		評価不可	66.67% ★★★ 達成度がやや低い	87.50% ★★★★ 概ね達成された		大 成果向上 小
	成果達成度	① 名簿登録同意世帯数(高齢者) 増加することが良いとされる指標		評価不可	90.33% ★★★★ 概ね達成された	93.00% ★★★★ 概ね達成された		
	効率性	結果	単位当たりコスト	① 訪問回数	円/回	平成19年度 857		平成20年度 756 ↑
単位当たり経費変動率(当該年度単位コスト÷前年度単位コスト)÷前年度単位コスト)					-11.87%	コストが減少している		
説明	平成19年度は事業初年度であり直接事業費がかかっていたが、平成20年度ではそれがなくなったためトータルコストが減少した。							

官 民 役 割 分 担 評 価	公共性		実施主体の妥当性		市の関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	提供の対象者は偏りが無いが、日常生活に必要な不可欠なサービス	政策的意思決定を必要とし、かつ行政上の専門知識を必要とするサービス				

事 業 性	区分	評価	評価判断理由	
			妥当性	役割分担
有効性	目的(対象・手段)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	災害時における要援護者を把握し、関係団体と協調し、要援護者を支援することは妥当である。	
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	高齢者や障がい者の実態把握を行い、名簿登録を行うことが、災害時の迅速な避難や安否確認に有効であり妥当である。	
評価	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	市民に対し、この事業の理解を深めることにより、名簿登録者の更なる向上は期待できる。	
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	地域防災の推進や、高齢者や障がい者福祉施策として位置づけており、貢献度は高い。	
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	ほぼ人件費のみのコストとなっており、事業の性質からもコストの改善余地はない。	
受益者負担の適正化余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	受益者負担を求めるべき事業ではない。	

改革	これまでの事業の改善状況とその内容	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 既に改善済 <input type="checkbox"/> 改善を検討したが、実施に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 改善した事項は、ない			
改善	ニーズ等の状況と課題	災害時における迅速な避難は大変重要なことであり、名簿登録者も多くニーズは高い。しかし、個人情報を取り扱うことから登録を躊躇する人も多く、個人情報保護を厳密に行うとともに、制度の趣旨を理解してもらうよう周知を図る必要がある。			
	今後の改革改善策	災害時に備えての要援護者支援は重要なことであるため、今後、自治会、自主防災組織、民生委員・児童委員等と連携を密にしなが、名簿の共有や日ごろの見守り支援などを行い、地域の体制づくりを進めていく必要がある。			
期待される効果	改革改善により期待される効果	災害時における要援護者の速やかな避難誘導や安否確認、日ごろの見守り活動が期待できる。			

事業の次方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する				
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	災害時要援護者の避難支援計画について、全体計画に基づき個別計画を作成する。				

一次評価日	平成21年6月26日	一次(事後)評価責任者	関根 勇	
二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了		
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する		
二次評価日				